

# ■エロPBW『地下闘技場インマーコロシウム』

## ◆オープニング

「ねえ昨日のインコロ観た？」  
「観た観た、久々に挑戦者ががんばってたよねー」

ドスケベ本性を隠せない女学生が話題にするインコロ。  
それは近年話題となっている深夜番組“インマーコロシウム”のことであった！  
悪質淫魔が使用していた地下闘技場。対混沌ギルドが淫魔を討伐した後、ある企業がその闘技場を利用して様々な催しを開き、興行化させた番組で、過激な内容が話題となっている。

「あの後どうなったんだろうね」  
「ねー……」

混沌の介入により倫理もろもろに変化が起きた今、多少過激であろうと深夜であれば許される時代となっている。  
インコロはそんな古き時代を思い出させる過激番組ブームの台頭であり、若者の間ですら話題になるほどの知名度を得ていた。  
話す二人も混沌の影響を受けたか、女学生らしからぬ下衆な顔でインコロに出演した挑戦者の姿を反芻する……

## ◆

『混沌の世の清涼剤、インマーコロシウムが今宵も始まりました！ 今回の挑戦者はこの方！ 小林節子さん！』

挑戦者の登場にガヤ要員が歓声を上げる。  
インコロは特殊な興行格闘番組。  
様々な業界や視聴者から挑戦者を募り、挑戦者は複数あるルールの中から一つ選び、賞金を賭けてインコロ側選手と戦う、という形式だ。  
今回は視聴者からの一般応募により選ばれた節子が挑戦者となり、グラビアじみた肢体に視線を注がれながら対戦ルールを選択する。

『さあ、挑戦者は好きなルールを選んでください』

「じゃあ……ローションプロレスで！」

デデー！

『ローションプロレスが選択されました！ もっとも実力が出ると言われる種目！ これは自信ありか——?!』

選ばれたのはローションプロレス。名の通り、全身に粘着質な液体を塗り込んだ状態でプロレスを行う種目。  
男がやればただのお笑いバラエティだが、女がやるとなると半分ポルノ。  
一部のギャラリーや視聴者は節子がローションにまみれて敗北する姿を楽しみに下卑た笑みを浮かべるが……  
節子の内心は至って真剣そのものであった。

(淫魔が経営してるって噂の番組……真偽を私が暴いてやるわ！)

正体を隠しているが、節子は実は対混沌ギルドに所属する滅淫士の一員である！  
表向きはただ過激なだけの番組として地位を確立させているインコロ。  
しかし実態は悪質淫魔が絡んでおり、放送外で一線を越えた行為をしているとの情報を手にし、  
今回は節子自身が挑戦者という形で潜入捜査に来ていたのである！

『特殊ローションが両選手に塗られていく！ 全身がぬるぬるぬとぬとだ——！』

ぬる♥ ぐちゅう……♥

「っ……！」

(やっぱりこれ、違法媚薬……！ しかも……)

【へへ、徐々に強そうな人だね……愉しみだなあ〜♪】

塗られるローションはバラエティ的な面白さを考えたものではなく、法外級の効力を持つ媚薬の一種だった。粘膜から体内に浸透すればたちまち興奮してしまう違法薬物。間違いなく淫魔が作ったものだ。一般市民であれば、使用直後は単なる興奮作用のあるローションだと思わされて気付かないだろうが、節子はそこもお見通し。

しかもこの効果は女性、もしくは挑戦者のみに発揮される。

この時点で既にこの番組はグレーを超越してブラック。

だが、ここで訴えたところで大した罪にはならない。

更なる証拠を得るため……そして滅淫士として華々しく活躍したいという欲求のため、

節子はインコロ側の選手との試合に臨む。

『ではローションプロレス、開始——！』

(最近、全然いいと見せられてないし……ここで汚名返上させてもらわ！)

「いくわよ……！」

【来い！】

(こんなお子様なんか……負けたりしないっ！)

がしっ♥

「んひいっ♥」

『互いに組み合った！ ローションまみれで組み合うぬるぬる感に挑戦者戸惑ったか、甲高い悲鳴が上がった——！』

媚薬への耐性を持ち、実際にローションまみれとなっても冷静だった節子。

少年など簡単にあしらえると思っていたが、相手と肌がこすれ合った途端に官能的な声を出してしまう。

今の節子は番組の趣向に合わせたビキニ水着姿。

組み合わせば様々な部分がこすれることになり、応じて媚薬も更に浸透する。

浸透速度も絶妙に調整されており、丁度試合が始まって組み合う頃に、節子のような耐性持ちにも効くようにされていたのだ。

予想外の衝撃——凄まじい性的快感に襲われた節子は、足を滑らせて転倒。

すかさず押さえ込まれ、無駄に大きな乳房が形を歪まされる。

がし♥ ぎゅむ♥ ぐちゅうんっ♥

「ちょ、ちょ待って！ タイム！ これ水着が……おほっ♥♥ それ♥♥ 反則うっ♥♥」

しかも水着——インコロ側が用意したビキニは、濡れたら縮む素材であった。

ただでさえ爆乳ではちきれそうになっていたビキニが縮んでしまい、見せてはならない部分が見えそうになる。

それを隠すために隙が出来て、足を滑らせてしまっていたのだ。

しかも敵は揉むだけでなく、ブラ同然のトップスの中に手を滑り込ませる。

過激な番組内とはいえ、相手の衣装内に意図的に手を入れるのは反則行為。

反則ギリギリの行為をしてくることは想定内だが、ここまで堂々とされるとは。

もはや格闘どころか、ただの乳揉み愛撫——法外な威力の快感に、節子はぬるぬるの中で悶絶する。

『ダウンした挑戦者に追撃！ 賞金を渡すまいと必死に押さえつける！

手が衣装の中に入っているが偶然なのでセ——フ！！』

もみもみっ♥ ぎゅむ♥ ぬるんっ♥ ぬっちゅうっ♥

「やめ♥♥ ちょっとレフリー♥♥ どう見てもわざと……おおんっ♥♥」

ぬるるぬるにまみれて訴えるがレフリー完全スルー！

もはや身体を覆うぬるぬるがローションなのか、それとも別の分泌液的な何かなのか、判別がつかなくなるほどぬるぐちよにされながら、節子は1ラウンドを何とか耐え切る。

【ほらほら賞金欲しいんでしょ、がんばれがんばれ♪】

ぬるうんっ♥ ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅっ♥ ぐちゅ♥ もみゅううっ♥

「おうっ♥♥ ふほっ♥♥ やっめ♥♥ んむんんんん……………おっ♥♥」

カンカンカーン！

『耐えた——！ 何とか1ラウンドを凌いだ節子！ 無事に2ラウンドへの進出が決定——！

えー、ここからは地上波では一部しか映せません！ 一部映像が隠されてしまいます！

全て観たいという方は有料チャンネルにご登録の上、有料チャンネルからの視聴をお願いします！』

インコロは“短く濃厚”をモットーにしている。

誰もが無料で観られるのは数分だけ、それ以降は一部が隠され、更に進むと完全に有料チャンネル限定の放送となる。過激な内容で課金へと誘う、典型的な商法。

ここでの“一部を隠す”がミソであり……インコロの闇はここから始まる。

「あっ♥ な、何使ってるの♥ それ……んおおおおっ♥♥」

『2ラウンド開始直後、挑戦者また押し倒された！ バックマウントに近い形で責められる！

えー、一般視聴者にはまるで後背位のように見えるかもですが、入ってはおりません！

安心してください、入ってはおりません！ そう見えるだけです！』

再度倒され、今度は後ろから覆いかぶさるように組み付かれる。

そして愛撫……されるだけなら問題なかったが、相手はいつの間にかイボ付き手袋を装着していた！

無数のイボ突起が一撫でするだけで多くの刺激を伴い、節子は1ラウンド時以上に感じさせられる。

しかも地上波では頭部や臀部だけが見えているため、まるで後背位で犯されて喘いでいるように見えてしまう。

敢えて規制に準じて隠すことで一般視聴者の妄想を掻き立て、課金に引き込むという手法だ。

見えないのだから大丈夫理論により、隠れた部分は完全に年齢制限相応の状態。

プロレス攻撃の皮を被った、何の遠慮もないセクハラ。今すぐにもでも訴えたいくなるが、

怒りと快楽を堪えて節子は目を剥きながらも歯を食いしばる。

『挑戦者は大丈夫か？！ まだ耐えられるのか——？！ これは放送してはいけない顔が映ってしまうのか——？！』

ぬるぬるぬるぬるっ♥ ずちゅ♥ ずりゅりゅんっ♥♥

「んお♥♥ お♥♥ あ♥♥ ……………おおんっ♥♥」

カンカンカーン！

『ギリギリ耐えきった！ 挑戦者、何とか耐え切りました——！

勝負は3ラウンドまでもつれ込んだ——！

まだ勝負は続きますが、残念ながらここからは放送できません！

後に販売予定の映像データ・映像商品でのみご覧いただければと思います！

果たして挑戦者はこの先どうなってしまうのか、挑戦者は無事に賞金を獲得できるのか？！

では皆さん、結果の発売までお待ちくださいませ！ また来週——！』

ここからは放送すらなくなり、完全に現場の者のみが真相を知る秘密の空間と化す。

表向きは更に過激な準ポルノ作品の撮影……しかし節子が手に入れた情報が正しければ、

準どころかただのレイプ現場と化しており、女性に恥辱を味わわせて逆らえなくさせ、

痴態を売り物にする最悪の性犯罪スタジオとなるはず。

ギリギリ放送可能な快楽攻撃に耐えた節子は、彼らを摘発するために一線を越えた行為を待つ。

(もう少し……♥ もう少しだけ我慢よ……♥)

具体的には挿入やそれに類する行為。それさえ収められれば、証拠として十分なものになる。  
身を以って証拠を得ようとする節子だが……

——……

—————

ぬるぬるぬるぬる♥ ぐちよぐちよぐちよぐちよおおっ♥

『おおっ?!♥♥ お♥♥ ほおおお~~~~っ♥♥♥』

『イボ手袋攻撃で再び絶頂——！ 節子、完全に快樂の虜になっている！ これは抜け出せない——！』

【あ、お姉さんがギルドの滅淫士なのはバレバレだから♪ 証拠掴む前に墮とし切ってあげるよ♪】

節子の考えは——甘かった。

てっきりレイプしてくるだろう。それを押さえればいいだろう。

そんな考えを弄ぶように、相手は前戯のみで節子を追い込み、快樂の底に何度も官能を叩き付けてくる。

身体が隠れているために行為は完全に晒されておらず、映像的には合法の域をギリギリ出していない。

せめて違法薬物の件で訴えようにも、もう心身がメロメロとろとろにされているため、まともな抵抗はできない。

悔しさに震えながら——節子は、降参の二文字を唱えさせられた。

『これ以上はヤバいぞ！ 円盤に乗せていいのか——?!』

【ほら認めろ！ 屈服しろマゾ牝っ！】

ぐちゅんっ♥ ぐちっ♥ ぐちゅ……っ♥

(も……むり♥♥ 被害者のみんな♥♥ ごめん……♥♥)

『負ける♥♥♥ 認めるっ♥♥♥ マゾ牝っ降参んっ♥♥♥ 気持ち良すぎて♥♥♥ 雄には勝てっこないのおおっ♥♥♥』

ブッシャアッ♥♥

『おおうんっ♥♥♥』

激しい潮噴きと共に試合終了。

結局、節子はまともな証拠を得られず、ゲームにも負けて賞金も取り逃してしまう。

敗北絶頂に浸る節子に、撮影が終わってオフとなった頃合いで、ようやくプロデューサーの本性が発露。

節子にのみ分かる程度に淫気を放出し……淫気と権力で拒絶できない状態になったところへ付け込んできた。

【いやーよかったよ節子ちゃん。今回の円盤は爆売れ間違いなしだよ！ ……で、どう？ 疲れただろうし……ホテルで休まない？】

がしっ♥ ぎゅむうっ♥♥

「はっ♥♥ はい……♥♥ 悦んで……♥♥」

堂々と誘い、合意を確認。

淫気を使っていることも周囲には分からないため、これでは法的には裁くに裁けない。

せめて節子が健全な状態であれば、ギルドの権限で現行犯逮捕できたのだが……

——……

—————

「いっ♥♥♥ いぐっ♥♥♥ おっほ♥♥♥ 負ける♥♥♥ また負けるうううっ♥♥♥」

入念な快樂責めに屈した身体は、リングの外でも雄に靡いてしまっていた……

#### ◆対混沌ギルド本部

「過激な深夜番組を捜査していた滅淫士が一名、行方不明になった。

新たに番組の調査と、彼女の捜索を頼む」

節子が捜査に失敗し、新たに滅淫士たちに依頼が出される。

捜査対象は地下闘技場と番組関係者。

違法薬物の使用は確認されているが、可能な限り、それ以上の証拠を押さえろ、とのこと。

「番組は混沌黎明期からの番組で、“出演者”も多い。

彼女らの保護も考えるとデリケートな仕事になると予測される。

関係者との接触も難しく、捜査方法は基本的に番組の挑戦者としての参加に限られるか。

……もともと、被害相談も多いので証拠さえ押さえれば何とかなるかもしれないが……」

要は担当する滅淫士の腕次第。番組の情報などをまとめた後、受付は依頼申請を完了させた。

#### ◆シナリオ情報

シナリオ名『地下闘技場インマーコロシウム』

卑猥な番組に挑戦者として潜入捜査し、悪事の証拠を見つけてください。

※今回は成否不明シナリオです。プレイングやNPCにより、事件が解決する可能性があります。※終盤・事後などの記述にご注意下さい。

※今回はプレイヤーから頂いたアイデアを元にシナリオを制作しております。ご協力ありがとうございます。

#### ○インマーコロシウム

混沌の影響が始まって早々に開始した番組。略称はインコロ、淫コロなど。

混沌介入後の世界基準でギリギリ合法的な過激さがウリ。

一部を有料限定、更に完全アウトな部分を商品化させることで強引に法の眼を抜け出しているらしい。ムチャすぎるやろ。

男性はもちろん、女性間でも密かに人気となっている（普通に性的な興味があったり、美人がコテンパンにされるのを愉しむ的な……）

#### ○過去の挑戦者

当然女性ばかり。

全員が対戦中に快楽に屈し、更に辱められて映像媒体として販売されるという仕打ちを受けている。

更にヤバい映像などで脅されており、訴えるに訴えられない状況となり、一部がギルドに相談してきた。

#### ○種目

挑戦者は「制限戦」「ハンデマッチ」「ローションプロレス」「Xバトル」から種目を選択できる。

##### ・制限戦

行動、武器、反則などルールが厳しい戦い。ランダムにルールが切り替わり、即座に対応しなければならない。

ルール違反してしまうと、一分間相手のサンドバッグにならないといけない。

頻繁にルールが切り替わるため、一種の頭脳戦ともなる。

膠着状態になりやすいため、新鮮さがウリ。

##### ・ハンデマッチ

インコロ側に人数のハンデがある多対一の格闘。

一人の挑戦者が二人以上にボコされる展開、逆転する展開が期待される。

##### ・ローションプロレス

通称・媚薬ヌルヌルプロレス。

全身にぬとぬとになるローション（媚薬）を塗り、プロレスを行う。

媚薬は女性にしか効果がない上に、相手側は滑り止めのイボ付き手袋を途中で使い始める。

プロレス技・組技で悶える挑戦者が見所。

## ・Xバトル

名前は放送用に隠されているが、実際はバトルファック。裏メニューとして存在する。  
もちろん、絶頂かギブアップで敗北。

なお、複数の種目を混合させた特殊戦も可能。

どの種目もプロレス風リングで試合を行う。

2ラウンド目までは（一部が）地上波公開されるが、

3ラウンド目からは円盤など映像媒体の商品限定となる。

1・2ラウンドで焦らしや公開リョナ、3ラウンド目でレイプ含めたガチエロ責めで墮とし、  
更にアフターとして一線を越えた行為に誘うのが番組側の常套手段。

## ○修正機能

撮影から配信までのタイムラグ中に魔力で修正が入るため、映してはならない映像などは問題ない状態で配信される。  
逆に、敢えて放送アウトな姿や言葉を出して事態を公にする、ということも不可能。

## ○媚薬

全ての種目で使用される。種目に参加しなくても空調などから散布される。  
一般の淫魔が使うものよりも催淫効果は強力だが、即効性は低い。

## ○プロデューサー

番組の最大権力者。  
様々なコネクションを持ち、番組を合法だごり押ししている。  
節子の件があり、潜入者などに対し警戒を強めている。  
そのため挑戦者の形以外では潜入捜査は困難。

## ○スタッフ

老若男女、選り取り見取り。  
中には淫魔も潜んでおり、狡猾に挑戦者の好みを分析して的確な種族と責めで籠絡する。

## ○小林節子

いつものザコ滅淫士。籠絡されたので一応救助対象。

## ◆プレイング（キャラ+行動）の例

### ■リョウカ

（このキャラシートは簡易版です。細かく設定したい場合、概要ページのキャラシートテンプレをご参照下さい）  
（一度キャラシートを提出していただければ、変更点がなければ次回以降はキャラシートは省略しても構いません）  
（現在のキャラシート ver は ver181230 です）

キャラシート ver : 181230

名前：皆本涼香（ミナモト・リョウカ） 【地の文表現：リョウカ/女格闘家/女戦士/女/少女/牝/自由】

性別：女 職業：学生 種族：人間 年齢：若

容姿：美～並 ◆体型（若：やや高身長：やや筋肉質でむちむち◆爆乳◆爆尻） 髪（黒茶色：ヘソ～腰まで）目（黒色）肌（アジア人的な黄）

装備：◆武器防具（ナシ（素手。せいぜい靴とか））◆衣服（セーラー服）◆下半身（ブリーツスカート。紺色のミニでパンツが見えないギリギリの短さ。発情時はわざと短くして常時パンチラ）◆下着（基本白。たまに大人びたもの/色とかは自由）◆露出度（高～並）

性格：一般人に対しては普通の元気娘。正義感が強い。敵には強気・堂々。ヤラれても一応堂々としてる

アドリブ：自由 ◆他キャラからのいじり、絡み…自由

備考：・ストリートファイトが趣味の元気JK。淫魔撲滅のため（とレイブ願望のため）に滅淫士としてギルドに所属し、日々淫魔たちと戦っている。

- ・戦闘は打撃系格闘技中心。
- ・快樂に対し、肉体は早期に屈服。発情しながらレイブ願望のために行動する
- ・一般人には基本的に手を出さない

※キャラを使用した二次創作・書き下ろしシナリオのDL販売等：可

※参加シナリオのDL販売等：可（無記入の場合は『可』扱い）

※キャラシートの公開：可

○プレイング

参加希望シナリオ『地下闘技場インマーコロシウム』

※プレイングの公開：可

◆動機：（これ、友達がハマってる奴……！ 出たくないけど……節子さん助けなきゃ……）

◆事前：番組をチェックして各種目の傾向と対策を練る。

◆装備：いつもの

◆行動：制限戦に挑戦。

ルールが切り替わる前に倒そうとするが、蹴る瞬間に「蹴り技禁止」にされてルール違反してしまう。

「えっ?! い、今の不可抗力でしょ!?!」

ペナルティとして一分間爆乳爆尻をサンドバッグにされるが、淫気の影響で感じまくってしまう。

再開するが「打撃禁止」状態なのに相手がマン的蹴り。

反則されたがリョウカはマン的されてイキかけているのでペナルティの間も動けず、何もできないまま1ラウンド終了。

2ラウンド目は規制カーテンで隠された状態で責められ、スパンキングなどで責められる様子がまるで立ちバックでハメているように見えてしまう。

3ラウンド目で本当に挿入されそうになり、証拠の体液を少しでも採取できたら本気で抵抗。

勝てるなら蹴り技で倒すが、負ければ蹴りを掴まれ再び反則を取られてペナルティ姦。

一分姦でメロとろにされてしまう。

無事に映像は販売され、地上波もクラスメイトに見られているので学校に行くだけで羞恥地獄に。

◆希望竿役：少年/触手 ◆竿役台詞：少~無

◆他キャラとの交流：自由 ◆交流時行動：種目被ってるなら変更も可。望むならタッグマッチも。

◆他希望など：少しでもいいので知人にも見られていることを意識する描写

◆事後：負けた場合、病み付きになって再挑戦。エロ下着で無駄にハイキックを繰り返しては返り討ちに遭うドMパンチラ女と化し、1ラウンド目から即墮ちしたりとヤラれ放題にされる。えっちな晒し者にされるのを愉しむ感じでレイブされる。

◆描写の優先度：絶頂=事後>焦らし、抵抗>他

◆※がっつり度：自由

## 参加者のプレイング

### ■竜崎 夏鈴 (りゅうざき かりん)

装備：◆武器防具：なし

◆下半身：上から羽織るマント風のローブで、全身を覆ってる？

◆下着：黒。見せるようでなく、自前の物

◆露出度：中

アドリブ：自由 ◆他キャラからのいじり、絡み…自由

○プレイング

参加希望シナリオ『地下闘技場インマーコロシウム』

※プレイングの公開：可

◆動機：なんやかんやで捕まった娘の救出のため、しぶしぶと。

◆事前：母であるファリンの姿が変貌していることに驚きつつ、彼女からの情報を元に娘を助けるために、しぶしぶと参加を決意。  
また、ファリンのあり方へは嫌悪しつつ、しかし同種であることに親近感も覚えている  
やはり親子なんだと納得もしている。

◆装備：素手

◆行動：制限戦・ハンデマッチに挑戦

娘の解放条件として100人を3ラウンド以内に倒せたらと言われ、挑戦を余儀なくされる。

1ラウンド目。同時に出てくるのは2～3人だが物ともせず、なぎ倒していく。

10～30までは順当に戦うも、1ラウンドが終了。制限時間内に終わるかという焦りから、2ラウンド目には更に人を出せと挑発。

運営も待ってましたと言わんばかりに、リングを拡張して一度に5～10人ほどを同時に乗せて乱戦にしていく

それでもなお止まらぬ快進撃だったが、2ラウンド目の中盤。

打撃が相手にぶつかる直前に『打撃禁止』のルールが発動。

ギリギリで寸止めするも、相手側がわざと倒れて攻撃されたと主張。

それが認められ、ペナルティをとられてしまう。

卑怯だとなじるもレフリー、観客ふくめ誰もがそれを聞き入れない。

一分間の抵抗禁止に男たちが群がり、口を奪おうとした男の顔を押しおのけようと手を動かしてしまい、ペナルティで時間延長。

プロレス技によるリョナ攻めが開始。

がんがん責め立てられる。

両手両足を拘束されたまま、痛さとそれによりマゾっけが疼いて性感を覚え始めてしまう。

ほどほどに技を受け、あえぐように息をした所で制限解除だが

下着は愛液で濡れて、快楽に浸っていることは目に見えてわかるようになる。

そのタイミングで今度は『攻撃禁止』のルールが発動。

それでは戦えないと言う夏鈴だが、男たちは容赦なく胸や尻などに平手を見舞う。

攻撃じゃないかとアピールするも、感じてるから愛撫だと言いつつ切られ、レフリー達はそれを認める。

気を良くした男たちは、愛撫と称して次々に技をかけていく。

拘束されてマットに寝転ぶ彼女の大きな胸を何人もが交代で踏みつけたり

足で固くなった乳首を愛撫するように踏まれたり

マン的からの電気あんまで責め立てられたり。

技の練習台にされたり。

いわゆるはずかし固め系の技で、観客や視聴者へのアピールをさせられてしまう

(ついでにテロップで実名公開とかー)

媚薬も効いてきて、さらにマゾっけのせいでどんどん性感が高ぶっていき絶頂寸まで行ってしまうが

それを見計らったように、ゴングがなり2ラウンド目が終了。

3ラウンド目。

先の技の数々によるダメージと、快楽絶頂寸前の状態で半ばアへ顔を晒してるような状態でリングへ。

残る人数は50弱。

このラウンドで全員を倒さないか駄目だと言われ、なかば絶望的な気分で全員を一度に相手するが制限時間の延長を懇願。

土下座させられ、そのざまを笑われたり、頭を足蹴にされたり、お尻を叩かれたりと散々になぶられた後に

・時間は無制限になるが、気絶するか絶頂したら負け。

・一回の絶頂で一日、性奴隷か肉便器あるいは技の練習台として過ごすこと。

この二点を契約させられ、カメラに向かってがに股ポーズで宣言。

ようやく戦闘が開始するが、即座に『愛撫禁止』のルールが発動。

夏鈴はしめたと思い、攻め始めるが男たちは変わらず技を仕掛けてくる。

さっきの要領で、それは愛撫じゃないかと宣告するも攻撃が愛撫なわけねーと嘲笑。

一方で彼女の攻撃は快樂とダメージで弱々しく、まるで愛撫みたいだと言われれば即座に反則をとられる。

その時点ではめられたことに気がつくが、もはや手遅れ。

『性感禁止』『マゾ性感禁止』『攻撃禁止』と次々に夏鈴だけが反則をとられてしまい

無制限の時間の中、延々となぶられ続けることとなる。

最後には情けと言うように『絶頂禁止』と出てきて、焦らし攻め。

そのままここまでですでに100日以上は切り売りしていた夏鈴には朗報だが

時間無制限の中で、延々とプロレス技によるリョナ性感、や、マン的などのマゾ性感、純粹にレイブと

メチャクチャな快樂で焦らされ続け、娘のことも夫の事もどうでも良いからイカせて

サンドバックでも肉便器でもなんでもなるからと絶頂懇願。

そのまま、あらゆる手法で絶頂させられ続けて、カメラに向かって練習用としてお使いくださいとアピールして終了。

◆希望竿役：いわゆるレスラー体型な、小柄な太っちょ。

◆竿役台詞：少～無

◆他キャラとの交流：自由 ◆交流時行動：変更可。タッグマッチも同じく

◆他希望など：夫への愛情と母への敵意にも似た複雑な感情に軽く触れて頂ければ。

◆事後：宣言道理にコロシウムで練習用に使われ続ける。

また、相手の加虐心を煽るように慇懃無礼な振る舞いも見せるが、どんな技でも即敗北。

被虐絶頂をしながら、ときおりレイブ懇願していかせてとおねだりしたりする奴隷として過ごすことになる。

(母であるファリンや娘も同じような感じに?)

◆描写の優先度：事後=焦らし、リョナ系>抵抗>絶頂

◆※がっつり度：自由

## ■ファリン

装備：◆武器防具：愛用のムチ

◆衣服：黒いゴスロリ服

◆下半身：服と一体のスカート

◆下着：赤いマイクロミニ

◆露出度：低

アドリブ：自由 ◆他キャラからのいじり、絡み…自由

○プレイング

参加希望シナリオ『地下闘技場インマーコロシウム』

※プレイングの公開：可

◆動機：孫のためと、コロシウムを乗っ取るため。

◆事前：コロシウムの稼ぎがどうやら良いらしいという事で、敵情視察。

上手くすれば自分のところのしのぎにもなるなど、孫を出しに娘を焚き付けて参戦。

なお、参加者側に回ってる時点で土台無理なことには気がついてない。  
ほぼ無意識に雄に屈服したい願望が発露した結果である。

◆装備：愛用の鞭

◆行動：制限戦

自分よりも遥かに大きな怪人を相手に、鞭を縦横無尽に操り呪術をどんどん付与していくファリン。  
※呪術は『行動遅延』『筋力低下』『視野策謀』など、相手の動きに制限をかけるものですが  
表現的に手間なら適当にする一してください。

しかし、途中から『攻撃禁止』の発令。これにより、両者の手が止まってしまう。  
もちろん観客からはブーイングが飛ぶ中、豚面をした怪人はレフリーに許可を得てから  
自分の応援席に居た男からサイコロを受け取り、これで暫定的に勝負だと提案。

とは言え、これで勝敗を完全に決めるのもつまらない。  
だから、解除された時に勝利数のぶんだけ攻撃を当てて良い。そういうルールで。

ファリンは悩むが、挑発してくる怪人にあえて乗ることにする。

彼女の先行で振られた出目は5。対する怪人は6。  
二度目、4に対して5。1には6——と、まるで勝つことが出来ない。  
5度ほどの負けを重ねたところで、イカサマだとサイコロをマットに叩きつけるファリン。

それに豚面の怪人はあざ笑い、なら次のゲームはお前が決めて良いと提案。  
未だに解除されない発令に、ファリンはしばし悩んだ末にあるいはそれが狙いかと疑いの目を向けて  
自分の子飼いに買いに行かせようとするが、さすがにそんな時間はないと不許可。

そうこうしている内に『攻撃禁止』が解除され、猛然と豚面の怪人が襲いかかる。  
ファリンは思わず防御してしまい、先の約束を破ったという事で違反をとられてしまう。  
本来ならサンドバック状態が普通だが、それはすでに約束されたことという事で、追加の罰則。  
首輪が持ち込まれて、ファリンの首にはめられてしまう。  
それは電気を発する奴隷の逃亡防止のための道具で、スイッチは観客の誰かが持つ。  
次にファリンが違反した、無防備中に抵抗したと判断したら押して良いと言う条件。

屈辱に頬を赤らめ、打ち震えるファリンへ怪人は改めて攻撃開始。  
尻を打たれ、股裂きをされ、股間を足蹴にされ、チョークスリーパーを決めた所でゴングに救われる。

2ラウンド目。

仕切り直しと攻撃するファリンだが、即座に電撃が走る。  
というのも、先の罰則がまだなのに攻撃をしようとしたからだ。  
強すぎる刺激にマゾっけを刺激され、絶頂にも似た叫びを上げた所で改めてプロレス技。  
マン的を狙うように、怪人の持つ棒が下からからち上げられて、ファリンは痛みと快楽に悶絶する。  
だが、これで終わりと立ち上がり再び攻めの姿勢に入るが、再び電撃。  
5回終わったはずと疑問に思うが、1ラウンド目は完成前だからと野次が飛ぶ。  
また、電撃で快楽にも似た叫びを上げたことも嘲笑される。  
否定すると、なら試してみようぜと怪人はアピールすると、スイッチが投げ込まれる。  
意図を察した瞬間、三度、ファリンを電撃が襲い、潮を吹きながらアへ顔で絶頂  
その直前に『絶頂禁止』の発令。

二重に罰則を受けた彼女に、さらなる電撃攻めで連続リョナ絶頂。  
たまらずやめるよう懇願すると、ならまたダイスでゲームしようぜと提案。  
出目が大きい方が攻撃件を獲得。ただし、怪人側は二つで両方勝ったら、さらに罰則追加だと。  
受けられるわけがないルールだが、屈服願望と電撃の苦痛から逃れるためにアへ顔で絶頂しながら了承。  
サイコロを振るが、もちろん二つとも負ける。  
なぜならイカサマダイスだからとバラされるが、それで了承したから反則じゃないと誰もが野次る。  
この場に味方は居ないのだと理解させられ、ファリンはギブアップしようとするが——  
『ギブアップ禁止』の発令と同時に宣言したため、反則扱いとなる。  
無防備なサンドバック化してしまい、今度は電気あんまと同時に電撃攻め。  
快樂と苦痛で壊れたように泣き叫びながら、また次の不利なゲームを受けてしまう。  
それにより——

- ・ 2ラウンド目のインターバル中、乳首とクリに電撃ピアス装着（全国配信で穴あけから）  
※なお、血とかは出ない感じの一つ。あるいはそこはカットで。でも、穴あけで絶頂しちゃう。
- ・ インターバル中、依存効果の高い媚薬ローションに浸かる
- ・ インターバル中、絶頂したらその回数だけ3ラウンド目は攻撃を受ける
- ・ 3ラウンド目に絶頂したら、その回数×1万円を観客に進呈。また、資金が付きたら返済まで奴隷となる。
- ・ 3ラウンド目の時間制限はなし。ファリンが敗北を認めた時のみとする
- ・ 絶頂したい場合は、豚の鳴き真似をしながら許可を得なければならない
- ・ 3ラウンド目はハンデ戦として、誰でも参加オッケーにすること

以上を約束させられたまま、インターバルへはいり  
ピアスを開ける痛みで絶頂し、テストの電撃で絶頂し、媚薬ローションで傷口が疼いて絶頂し  
逃げようともかく身体を抑えるイボ付き手袋の刺激で絶頂し、浸透させようとする動きで絶頂し  
絶頂カウンターは数十から100近くを記録。  
そのまま3ラウンド目に突入し、怪人から無防備過ぎてつまんねーなーと笑われながら  
しゃぶったらお前が望むようにしてやると、ちんこでビンタされ、ファリンは朦朧としたまま啜えると即座に電撃。  
さらに鞭を奪われ、背中を打たれながら『痛みでなければ絶頂できない』『電撃でないと絶頂できない』『怪人の許可がないとできない』  
などと刻み込まれて、さらにそのまま雪崩こんだ観客に輪姦される。  
が、絶頂はできずに快樂を求めていたぶって、叩いて、電気でいじめてなどどリョナ懇願。  
その後は出鱈目にイカされまくったり、焦らされ続けて豚の真似を繰り返したりとやりたい放題されて敗北を認め  
奴隷宣言した所で、気絶。

- ◆希望竿役：ファリンの倍はある、脂ぎった豚面の怪人
- ◆竿役台詞：少～無
- ◆他キャラとの交流：自由 ◆交流時行動：変更可。タッグマッチも同じく
- ◆他希望など：

◆事後：娘、孫ともどもに奴隷として飼育される日々。扱いはもっとも酷く、技の練習台や肉便器として過ごすのは同じだが、より加減がない。

未だに着いたままの首輪やピアスの電撃スイッチは、闘技場に設置されたQRコードでDLできるようにされている。  
また、契約は続行中の為に絶頂させるとファリンのファイトマネーから一万円が支払われるが、すぐになくなるので  
そうした人の中に抽選で、お仕置き券が洒布される。

お仕置き券は半ば無制限に、なんでもしていいと言えるほど大抵のことは許されているが殺すのは禁止。  
ほぼ毎日配布されるそれは、主に試合中に使われ、レスラーたちと一緒にファリンを騙ることに使われる。

未だに続く自身へかけた呪いから、リョナじみた行為でなければイケないファリンは、今日も電撃を受けながら豚のように鳴きながら

セックスを媚び続けている。

(蓮はなんか、豚の子供とか出産してました)

- ◆描写の優先度：事後＝焦らし、リョナ系>抵抗>絶頂
- ◆※がっつり度：自由

## ■如月 レイカ (きさらぎ れいか)

- アドリブ：自由 ◆他キャラからのいじり、絡み…自由
- ※キャラを使用した二次創作・書き下ろしシナリオのDL販売等：可
  - ※参加シナリオのDL販売等：可（無記入の場合は『可』扱い）
  - ※キャラシートの公開：可

○プレイング

参加希望シナリオ『地下闘技場インマーコロシウム』

※プレイングの公開：可

- ◆動機：違法薬物の取締りと行方不明者の捜索ため潜入し、すべての証拠を確保するために参加
- ◆事前：近接戦闘の訓練を行う。
- ◆装備：黒のタンクトップにスパッツ・下着なし
- ◆行動：ハンデマッチに挑戦。

レイカは最終的な黒幕と考えられるプロデューサーに接触して、証拠を押さえるためには番組の企画に参加するしかないと判断します。圧倒的な格闘技の技量の差があると自負するレイカは「ハンデマッチ」を選択し、なんなくと賞金を得たとプロデューサーに接触する機会を狙います。

レイカの格闘技の技量を警戒した番組側は屈強な男を5人用意し、大きなハンデで課して最初からレイカを全力でぶろうとします。スタッフの卑劣な視線を受けながら、豊満な胸とお尻をタンクトップとスパッツに包み込んだ妖艶なレイカがリングに登場し第1ラウンドがスタートします。

しかし、第1ラウンドがはじまってみると、5人の男達の攻撃をレイカは華麗にさばきながら着実にカウンターを決めていき、レイカに有利な形の一方向的な試合が展開されます。

『人数を揃えても、個々の技量がこれでは大したことないわ、もっと鍛錬を積むことね！』

そう言いながらキックをかわして、攻撃を放った男の側頭部に回し蹴りをあてていきます。

「ちくしょう！生意気なこと言いやがって！」

空調からの媚薬も散布されていますが、即時性がないため、まだレイカも十分集中力を維持しています。

【これは意外な展開！挑戦者に完全不利と思われた本試合ですが、ふたを開けてみれば挑戦者が圧倒している！】

「くそー！本当に歯がたたないぜ！…でも、あいつどっか見たことが！ああっ…思い出したぜ！AVに出ていた爆乳肉便器女婦警だ！男子便所の便器に縛られて肉便器ファックされてアクメされまくっていた！」

「俺も思い出したぜ！チンポに敗北しまくった肉便器じゃねーか！肉便器のくせにはむかいやがって覚悟できてんだろうな！すぐに尻丸出しにして詫びやがれ！」

レイカは自分の痴態を男達が見ていたことに動揺してしまいましたが、顔にださないようにしながら、『意味がわからないわ！雑魚が騒いでも無駄よ！』そう言い放ちやり取りを終わらそうとします。しかし、レイカのマゾ牝という本性は隠せずに、番組側のカメラは見逃しません。

【おっと、見てください、挑戦者の胸の先端がバキバキに勃起しているのがわかります。男達の罵倒だけで発情していく挑戦者は大丈夫なのか。】

番組ではレイカのタンクトップの先端が高画質でアップになり、タンクトップを乳首が卑猥に押し上げていくところをプレイバックで流されてしまい、さらにレイカに羞恥を与えていきます。

「ふん、少々格闘ができてても所詮は爆乳肉便器女じゃあねえか！いくぜ！」

男達の顔がメスを調教するような目になり攻撃が素早く展開していきます。しかし、それでも行動は単調でレイカは難なく回避しようとします。

『なんどやっても無駄よ！』

しかし、男達は既に「格闘」から「調教」に目的を変更しており、それをレイカは見誤ってしまいます。いつものように体を攻撃してくると予測して動いたレイカですが、男はレイカの大きな胸に狙いを絞っており、その誤差が攻撃をヒットさせてしまいます。パッシン！と大きな胸に男のビンタが思いっきりはいるレイカはその刺激でビクンと体中に快感を流してしまいます。

『おおおうんっつ♥♥♥』

レイカを後ろ側から隙を狙っていた男がその瞬間を逃すわけがなく羽交い絞めにしてしまいます。攻撃してきた男はさらに腕をムチのようにしならせて、レイカの爆乳を何度も大往復ビンタします。それが終わると、レイカの胸は先ほどよりもさらに張ってしまい、乳輪から盛り上がっているのがタンクトップ越しでもまるわかりになってしまいます。

「敵から攻撃されて、もうバキバキじゃあねえか、このメス牛！それもメスの匂いまき散らしやがって」  
胸ビンタをしてきた男が右胸を驚掴みして、人差し指と親指でビキビキの乳首をコリコリとしごきながら言います。さらに他の男達がレイカの足を無理やり広げさせると股間には既に大きなシミができあがり、スパッツにアソコが吸い付いているのもまるわかりです。もちろん番組カメラもその様子をアップで映します。

「へへへ、おらマゾ牝肉便器じゃあもう限界だろ！犯してやるから全裸になってケツ丸出しにしなごら降参宣言しろ！へへへ、第一ラウンドでここまで無様な敗北したやつなんていねーぜ！」

レイカの心はもう折れかけており、男の言葉に体を発情させられていきます。また空調からの媚薬もだんだんと効果を上げていき、第1ラウンドでの無様敗北を想像しただけで軽いアクメを迎えそうなほどになります。もう、レイカの理性の堤防は結界寸前で、みずからスパッツを脱ぎ始め、半分くらいお尻をだしたところで、第1ラウンドのゴングがなります。

なんとか、第1ラウンドでの全裸無様敗北を回避したレイカですが、第2ラウンドまでに体制を立て直さなければなりません。そう考えていると、番組ADの青年がやってきます。

「申し訳ありません。機材の故障があって少レインターバルを置くことになりました。一度控え室までもどってもらって休憩していただいでよろしいでしょうか。」

レイカにとっては、少しでも時間をおきたい状況であり、二つ返事で承諾してADについていきます。

「この部屋で休憩してください。」

しかし、ADに案内された場所には、部屋はなくポツンとロッカーが一つおいてある廊下であり、レイカは困惑します。

『あの、部屋なんて…』

「いいから、さっさと部屋に入れよ！マゾ牝！」

そういって、ADはロッカーのドアを開けて、レイカの背中を足で思いっきり蹴ってロッカーに入れて、施錠してしまいます。ロッカーの中には使い古された男性の下着が多数あり、いるだけで妊娠してしまいそうな状況で、さらに淫魔特性媚薬が充満しており、レイカは休むどころか散々に発情させられてしまいます。

「手間かけさせやがって、その中でたっぷり発情して無様晒せ、肉便器が！」

番組側はレイカの格闘センスに脅威を覚えて、念押しのために第2ラウンドまでにさらに責めを追加したのです。

30分間そのロッカーに閉じ込められた、レイカの体は立ったま休むこともできずに完全発情状態になってしまい、ギリギリのところ交尾を懇願することを我慢しているような状況です。ADはそれを嘲笑しながら、レイカを乱暴にロッカーから出し、リングに連れていきます。

第2ラウンドがはじまりますが、レイカのスパッツのシミは更に大きくなっておりヒクついて様子もまるわかりです。タンクトップもパンパンに張った胸に完全にフィットしており煽情的なコスチュームになっています。

「へへへ、いい状態じゃねーかたっぷりかわいがってやるぜ！」

ラウンドが始まると同時に、男達の攻撃は容赦なく再び胸ビンタを狙っていきます。レイカも反撃と回避を試みますが、完全発情状態では逆に反撃もあたらず、回避も成功しません。何度も胸ビンタを食らってしまい快感で朦朧としているところに、足を掛けられてしまい、仰向けに倒れてしまいます。そこを狙って、男達は股間を踏みつけてグリグリと動かしてレイカを責め立てます。

卑猥な声をあげるレイカを男達は嘲笑しながら、さらに電気アンマで攻撃していきます。

『だあっ…ダメ！それはあああ！』

そういいながら、電気アンマ責めにトロトロになったあそこが対抗できるわけもなく、スパッツ越しですがアクメ潮吹きをテレビで晒してしまうことになります。

そのイキ顔をさらに晒すため、髪を掴んでカメラまでよっていきレイカの顔面大アップになったところをまた電気アンマを食らわせてイキ顔をテレビで晒させます。

「ははは、いい末路だぜ！おらおら、まだまだ終わらねーぜ！」

何度かアクメ顔を晒させた後、顔面を何度もビンタされ、お尻を何度も蹴られた無様やられすがたを晒しながら、放送コードに引っかかるがない具合にアクメを晒しちゃいます。

そして、第3ラウンドを迎えます。…

勝利の場合：マゾメスの底に隠していた反抗の意志を解放し、油断しきっている男達を瞬殺していき逆転KO勝ちします。

敗北の場合：もう、あらがうことができずに全裸になり！足を大きく広げてお尻を突き出しながらの無様敗北を宣言してしまい、5人の強烈ピストンセックス責めを受けてしまいます。

駅弁ファックのカッコで犯されながら5人にリレー方式で永遠とハメ倒されてしまい完全なペニススペースとして扱われてしまいます。最終的に会場の端に肉便器と設置されてしまい、選手・スタッフ・観覧客からも犯されてしまい、完全敗北してしまいます。

◆希望竿役：少年／青年 ◆竿役台詞：多

◆他キャラとの交流：自由 ◆交流時行動：タッグマッチもOKです。

◆事後：再度挑戦しますが、当然の第1ラウンドでの無様敗北をなんどもしてしまい、AVも発売されてしまいます。

◆描写の優先度：絶頂>発情>本番>抵抗>前戯>戦闘>他

◆※がつり度：自由

## ■奉月 紫闇 (ほうづき しあん)

参加希望シナリオ『地下闘技場インマーコロシウム』

※ブレイングの公開：可

◆動機：このような番組がまかり通るのか……これは一度、キッチリと摘発して今後似たような番組ができないようにしておくべきだな。だというのに……淫滅土ともあろう者まで被害者とは。

◆事前：件の番組が舞台として使っている施設の情報収集を。以前に淫魔が使っていた施設を流用しているならギルドにその事件の情報があるかもしれないので。それを元に違法な薬を置いている場所や隠し通路などにアタリを付けておく。

なお、今までの諸々の事件からの知名度で参加申し込みの時点で正体バレするかも。(どの程度の知名度かはお任せします)

◆装備：いつもの服装→黒のマイクロビキニ (番組側が用意した物。実態は水着に擬態した媚薬スライム)

◆行動：

リングに上がる前に小型の淫魔に偽装した使い魔をこっそり放ち、アタリを付けておいた場所を中心に搜索させておく。

「所詮、ルールで縛らなければ女一人倒せない軟弱の吹き溜まりだな、ここは。」

侮蔑とともに挑発の言葉を投げながらも、辺りを確認。

ルールは、と聞かれて一番無難そうなハンデマッチ (実力差があるので複数相手でも余裕と見ている) を選ぶとするも司会者側から『え？あんなに自信満々なのに他のルールは自信ないんですか？』などと煽られ、「バカにするな、どれだけルールで縛ろうと私の勝ち揺るがらん！」と売り言葉に買い言葉でぜんぶ載セルールで戦う事に。

なので対戦形式は「制限式ハンデXバトルローションプロレス」に。

選手側の不正がないように番組の用意した水着に着替え。リング上で首下までを隠す布の衝立 (影は見える) の中で着替えるが、衝立はテレビ放送用で会場のモニターには生着替えの様子がぼんやり流される。胸や局部は別枠でアップで写されたりも。

水着は一見普通の黒ビキニ。思ったよりも普通の水着に少し安堵しながら着替える。

「んっ、なんだか肌に張り付くような……？」

その後、衝立を片付けたリング上でローションを塗られる。大の字に手足を広げられて丹念に全身を愛撫されながら媚薬ローションを塗り込まれていく。この時点で何度も軽くイキ、軽度の発情状態に。

「ん、んんっv ローションを塗るだけだろうっ！早くその手を、んひっvv」

なお、塗られた媚薬も空調で散布されている媚薬も紫闇がぎりぎり耐えられるぐらいに調整されている。その代わり受けた性感を増幅する効用が追加。発情しながらもなんとか戦えるが、エロ攻撃にはさらに弱くなる仕様。

すでに開始前から股間から愛液を垂れ流すほどに感じ入っている紫闇。司会に試合前からそんなので大丈夫かと揶揄われ、「このていど、ハンデにもならん！」と強がりを。

が、さっさと終わらせたいので最初から本気で、虚空より黒の魔剣を抜き放つ。

「ふ、私とてプロレスの知識はある。試合で“凶器”が使われる事も、な！」

なお正確な知識はない模様。

試合は魔剣による凶器攻撃（自称）、魔術（闇の魔弾を放つ、障壁を張って相手を吹き飛ばすなど）、魔力を四肢に纏わせた格闘。

1ラウンド目。多数相手でも優位に試合を運べるが、勝ちそうになるたびにビキンスライムが乳首や股間を愛撫する。

「ん、ふう vv やはり、この水着、何か……ひあっ vv」

さらに魔術禁止、凶器禁止などの制限に対応しようとするたびにスライムに胸や股間を責められて対応が遅れてペナルティに。無抵抗でスパンキングやくすぐり攻撃をされる間、ビキンスライムの責めも加わる為、傍から見てるとそれで感じているようにも。1ラウンド目はスライムも対戦相手も視聴者にすぐばれるような行為はせず、紫闇が勝手に感じているような演出で羞恥を煽る。

2ラウンド目。一部映像が隠れるのをいい事に過激化。ビキンスライムが乳首やワレメの形が分かるくらいに極薄に。さらに淫気を胸や股間に沁み込ませ始める。そのためギリギリ耐えていた性感が時間経過とともに耐えられなくなって。

「はあ vv はひっ vv こんなこと、わたひは、ま v まけにやい vv」

2ラウンド目は強まる発情による能力低下も相まって、徐々に負ける事も増えてくる。それでも終わらせないように対戦相手が手加減をして逆にイかないように調整される。

このラウンドでも1ラウンド目と同様の手口で制限によるペナルティを課せられる。

頭の後ろで手を組まれ無抵抗の紫闇に、媚薬水鉄砲を四方八方から撃たれる。その間、スライムがワレメを開き、陰核を剥いており、そこにも容赦なく撃たれ。さらに浴びせられた媚薬はスライムが濃縮してアナルから注ぎ込んでいく。いっぱいになったらスライムがアナルプラグのように塞ぎ、零れないように。

「ひやめろ vv しょこはあっ vv」「ひいっ vv おひ、おひりにいっ vv」

続けてペナルティを取られ（あるいは単に抑え込まれ）、対戦相手も“凶器”と称して淫具を使ってくる。胸にローター、股間に電マを当てられる。電マは握りが極端に短い物で、その正体は伸縮自在の極太パイプを縮めた物。水着はスライムなので、絵的には水着の上から当ててるようでもしっかり直接当てられている。さらに股間は電マを当てられているようにしか見えないが、伸ばしたパイプが子宮口まで貫いて。これらは対戦相手が手を離してもスライムが絶妙な加減で保持するため落ちたりしない。

その後もその状態のまま試合続行。時間いっぱいまでローターとパイプの刺激、アナルの媚薬浣腸に感じながら戦う羽目に。

「こんな、こんなやつらに vv わらひは、まけ、にやいっ vv」

3ラウンド目。ルールにXバトル追加。仕様が一部変更され、戦闘不能か降参で負け、負けた場合は絶頂した回数と同じ人数から犯される、とアナウンス。会場も盛り上がる中、試合開始。

2ラウンド目までイかないよう寸止めされ続けていたため、イきたいという衝動とイかないというプライドがせめぎ合っている状態に。さらにアナルの媚薬が回り切っている為、常に発情しっぱなし、少しの刺激でイキまくるように。その状態でビキンスライムから本格的な責めが開始される。もはや水着の擬態すらしないスライムに乳首や陰核をこねくり回され、膣やアナルを掻き回され。

「あ vv ひあ vv こによ、みじゅぎ……やつぱりいっ vv」

絶頂しまくりながらも何とか戦おうとするも、完全に遊ばれている状態に。

制限ルールもXバトル仕様になり、【膣とペニス以外での攻撃禁止】など。スライムは水着なのでペナルティ適用外なので、攻めに行かなければ負ける状況。対戦相手もわざと紫闇から攻められるよう騎乗位に誘導し、紫闇が自分で腰を振るように仕向ける。数度のピストンで腰が砕けたところで相手が本格的に突き始め、さらに制限が【アナルとペニス以外での攻撃禁止】に。必死に膣から抜こうとするも砕けた腰で、突き上げられながらでは抜けるはずもなくペナルティを取られる。無抵抗に犯してよい、となる為、対戦相手全員からの輪姦状態に。三つ穴犯され、四肢も身体も余すことなくペニスをしごぐのに使われる中、スライムが全身の性感帯をさらに犯し抜いていく。

これ以上は、と思って降参しようとするたびにスライムの責めが激しくなり絶頂して降参とも言えずに、気を失うまで続けさせられる。紫

闘の耐久力の高さがアダとなり、負けるまでに絶頂する回数がどんどん増えていくことに。なお、絶頂回数(は)中継用大型モニターに表示されている。

負けた後はリングの外に拘束されて観客にも犯され続ける。この間の絶頂数も人数のカウントに入る為、延々と終わらない凌辱を受ける事に。

(負けた後ののは事後の方が良ければ、そちらへ組み込んでください)

◆希望竿役：少年青年中年などの人型や触手、蟲、ゴム製ゴーレムまで様々に(異形を中心に、数や種類はお任せします) ◆竿役台詞：並〜少

◆他キャラとの交流：自由 ◆交流時行動：お互い負けぬようにな、などと試合前に互いに激励など。可能ならタッグマッチなどの変則マッチも可。

◆他希望など：大勢の観客、テレビ中継により多数に晒されている事を意識しながらだと嬉しいです。

◆事後：

成功：スライム寄生・関係各所への報告会。

ビキニスライムが膣やアナル、尿道や乳腺に入り込んだままで出て来ないのでこれの治療と、今回悪用された施設や薬物などの報告を自治体や有識者、マスコミなどに説明させられる。

服装はキャンペーンガールの露出の高い服……だったのがいつの間にかスライムに取り込まれていて、スライムが凝態したモノに変わっている。淫気を浴びて発情した身体をスライムに責められながら、今回の事件の概要をテレビで説明していく。

終わったら薬物の説明と、現在の紫闇の状態の説明を求められ、いやいやながら答える。端折ろうとすると詳細に質問されて、恥ずかしい部分まで自分で言われることに。なお、説明が進むにつれてスライム服の胸や股間が丸見えになり、愛撫されている様が克明にカメラに映される。

その後、有識者の意見を聞きながらの治療に。胸を揉まれ乳首をしごかれ、自分で膣やアナルを開いてみせ。膣、アナルへの生挿入での精液注入、クリを清潔に保つためと称してのクリブラシでの執拗な責め。最後に両手両足を拘束された状態で乳首・陰核にローターやリングブラシ、膣・アナル・尿道にそれぞれの大きさのパイプで責められる。その状態で、世の淫魔に怯える女性に一言を求められ。

「淫魔犯罪は、我々ギルドが撲滅します！」と決められていた台詞を絶頂しながら呂律の回らない言葉で言う。

失敗：

スライムの寄生状態は変わらず。インコロキャンペーンガールに仕立て上げられる。スライム製のキャンギャル衣装に身を包み、手足もスライム手袋・ブーツに覆われて自由が効かず。自分の意志とは関係なく、試合前後のパフォーマンス・オナニーショーで会場を盛り上げたり、勝者へのエキシビジョンマッチなどに出されて犯されたり。試合に出る時は、ある程度は自由に動けるものの、最終的にはスライム服にイカされ、四肢を操られて自ら相手を誘って負けを演出する羽目に。当然、観客への輪姦サービスもあり。

番組がない間はAVやインコロのプロモーションビデオを撮られる。ノーマルな内容から出資者への接待セックス、リング上での試合を模した輪姦まで。

それらのない時や移動時間には全身に淫具を付けられ、淫紋を子宮に刻まれて全身の性感を増幅されている。スライムが四肢を動かすので本人は絶頂で動けなくても問題はない。

◆描写の優先度：絶頂=事後>焦らし、抵抗>他

◆※がっつり度：自由

## ■霧崎 リン (きりさき リン)

参加希望シナリオ『地下闘技場インマーコロシアム』

※プレイングの公開：可

◆動機：これはこれは、いい番組じゃあないか。仕事抜きならねえ。

◆事前：番組をチェックして欲望を膨らませておく

◆装備：なし ◆衣服 会場で支給されたスタイルを強調する卑猥な水着

◆行動：ローションプロレスに挑戦。DMの為途中でちょくちょく行く。

「これはこれは…楽しい時間になりそうじゃあないか」

ローション塗る段階でご満悦。

1R目開始の段階で既に大分出来上がっている。

「はあ、はあ、ふう…さあ、愉しませて貰おうか…♥」

「ルールはよく知らないのだが…兎に角なんとかすればいいのだろう…？」

とかのたまいながら、下半身へのタックルやコーナーポストを攻撃に使おうとする。  
が、あまり変則的な動きが出来ないので効果は運次第。

ミスったらベアハッグの体勢で締め上げられ、

更に移行してコブラツイストで締め上げられながら、胸を責められる。

状況により嘔乳する。

「おぐううう♥♥なかなかの締め付け…えっ♥♥」

「あふううう♥そこ、はああ…っ♥♥」

2R目 ふらふらしているが体力的な余裕だけはある。よだれを拭う。

ついでに淫紋はすっかり発光している。

「ふうっ…ふう…っ…ふふふ、なんという私得な競技なんだ……」

速攻でアルゼンチン・バックブリーカーの体勢に掴まれ、見えない角度で股間を責められる。

「しま……んおっ、あおおおおっ♥♥」

そのまま追加で変形アトミックドロップを食らい、股間を思い切りロープに打ち付けられる。

「あおおおおおおおっ、キクうううう…っっ♥♥♥」

ビクンビクンしている間にロープに拘束され、水平チョップ連打、という体の胸攻めをされる。

「おぐっ♥♥おうっ♥♥んあうっ♥♥なかなかの、攻めええ♥♥♥」

3R目はグロッキー、体力以外。理性が残っていれば攻勢するが残ってないと役に立たない。

「おふうううう♥♥やるじゃあ、ないか…♥♥だが、その股間のご立派なモノは飾りなのか…？」

そして理性の有無の関わらず、(己の欲望の為に) ちよくちよく挑発する。

使命とかそういうことは考えていない。

考えない。

動きは鈍っているので、簡単に捕まり無様なポーズで締め上げられたりする。

「んいゝい……っ♥♥あ……はあっ……は……♥♥うくッ……、ん、ッッ……♥♥あゝ、ッあゝ ああ……♥♥」

グロッキーになったところで、髪を捕まれ無様な表情を大写しにされる。ついでに淫紋も。

そのまま晒し台のように上半身をロープの間に突っ込まれ、尻を突き出すような格好にされ、モノで尻を擦られながら尻叩きされる。

最後は種付けプレスフォールを喰らい、トドメを刺される。

が、ダイス次第ではゾンビのように復活し性的な意味で襲ってくる（

満足度が足らないと運次第でスタジオスタッフの蹂躪を始める。

「ふふふ、さあ、どんどんきたまえ♥♥」

無事満足度が足りていて、きっちり蹂躪されていればその辺でダウンしている。

その場合はそのまま運び出され、完全拘束された上で出資者達に使われる。

「あ、ッひ♥イゝいつ……♥♥お、おゝッ、——ッ♥♥お、あ、あっ、あ、♥♥」

その後色々持て余され、箱詰めされてギルドに出荷される。

映像が販売されても気にする気配なく、自らオカズにする

◆希望竿役：マッチョ/性別ひなら種類問わず ◆竿役台詞：普〜少

◆他キャラとの交流：自由 ◆交流時行動：主に不安視されるのが仕事。会話には応じるが妄想逞しくしている率が高い。

◆他希望など：

◆事後：負けた場合、ノリノリでドハマリして嬉々として通い出す。全くの平常運行。常連になりすぎて完全に馴染んでしまい、ある意味スター選手と化す。

そのうち出場種目アンケートとかされる始末。

勝った場合、解決した場合は「いやぁ…惜しい番組をなくした」と本気で残念がる。

◆描写の優先度：絶頂>焦らし、抵抗？>事後>他

◆※がっつり度：自由

## ■アンナ・ローゼンハイム

○プレイング

参加希望シナリオ『地下闘技場インマーコロシウム』

※プレイングの公開：可

◆動機：またくだらねえことをやりやがって！叩き潰してやる！

◆事前：番組をチェックして破壊活動していいか考える。あと中和剤を用意、事前に飲む。

後いつもどおり、研究班に盗聴器とGPSをつけられている。

◆装備：いつもの→女子レスラー風の青主体のミニスカ風衣装+プロテクター

◆行動：3対1のハンデマッチに挑戦。

試合前

いつもの格好で行こうとしたら、色々問題があると止められ支給衣装を渡される。

1R目 ステータスが万全に近いので、序盤は圧倒する。

身体能力に任せ殴りかかる。

また、盛んにコーナーポスト等で凶器攻撃しようとする。

「ぶちのめしてやらあ！」

中盤辺りから発汗によって衣装が食い込みはじめ、動きが鈍くなり反撃を受け始める。

「ちっ……（くそ、段々動いてる間に…）」

後半辺りで捕まり、二人がかりでロメロススペシャルをかけられ、股間を大写して映されたりする。

解放されたところで、今度はコーナーポストを使って股裂きにされ股間を責められる。

「んっぐ……う♥♥くそ、離しやがれえ…！！」

2R目 淫気の影響が強くなり始め、動きが大分鈍くなる。体力を回復・温存しようとしはじめる

組み付かれて抱え上げられ、フルネルソンを食らう。ついでにその体勢で公然と胸を責められる羽目に。

そしてその体勢からフルネルソンスープレックスを受け大きなダメージを受ける。

食い込んだ衣装により色々なものが浮き出ているのが大写しに。

そのままレッグスプリット（股裂き）の体勢に持ち込まれる。

無防備になった股間にマン的を何度かくらい、悶絶する。

3R目 どの程度体力が温存・回復できたかで動きが変わる。概ねダイス次第とも

比較的回復・温存ができた場合

「好き勝手しやがって…ご破産にしてやる！！」

ラフファイトを始める。

リアアットで相手を水平発射したり、ジャイアントスイングで水平発射したり、力を振り絞って周囲へ被害を出す乱戦を始める。

長机とかパイプ椅子があれば嬉々として使い始める

アカン場合

R 開始段階からグロッキー気味

いきなりマンハッタンドロップをくらい、悶絶させられる。

なんとか立ち上がったところで、すかさずリングに相手全員が上がってきて両脇からガッチリ押さえられる。

数度腹パンされた後、三人に取り囲まれほぼ痴漢と同義の攻撃を受け、散々にイカされてしまう。

「はっ、あゝ、お……♥♥あゝ、あ、お、ひっ♥♥い、っうぐ♥♥くそ……ふうゝうう♥♥」

そしてトドメにアナル固めをくらい、無理矢理ピースサインを作られながら失禁

尚、発売された DVD にはご丁寧に JK とか第三段とか書かれている有様。

◆希望竿役：屈強そうな男達/どこかで見たような面々 ◆竿役台詞：少～無

◆他キャラとの交流：自由 ◆交流時行動：気をつけるよ的な事を言う。同じ種目の奴が居るならタッグもやぶさかでなし。

◆他希望など：少しでいいので知人にも見られていることを意識する描写

◆事後：淫気漬けにされ、同スポンサーのスポーツセックス DVD の撮影にぶち込まれる。

どこかで見たような奴らにサンドイッチにされたりする。

再び《肉便器》(レディ) の心得を肉体に刻み込まれるものの、脳筋の彼らはずいスポーツマンシップに則り

以前と同じように解放してしまうのであった…。

(尚、帰りは交通機関があったほうがいいだろう、という傍迷惑な親切心により、今度は早朝の駅前のオブジェにくくりつけられ、産卵シヨ一する羽目に)

壊滅に失敗している場合は第四段スポーツセックス編、第五段二穴孕ませ地獄編抜いで発売に。

◆描写の優先度：絶頂=事後=焦らし、抵抗>他

◆※がっつり度：自由